

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 アシストⅢ

保護者等数(児童数)5名 回収数 3件 割合 60 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	0	0	1		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	2	0	0	1		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	0	0		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3	0	0	0		
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	0	0	1		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	0	0	1		
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	0	0	0		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	0	1		
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	0	0	0		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	3	0	0	0		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2	0	0	1		
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	3	0	0	0	送迎の際や連絡帳で子供の様子をしっかりと伝えていただけています。	
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	0	0	0		
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	0	0	1	会合は行われているが参加したことはない。なかなか参加できないのでわからない。参加できたことはありませんが、保護者会が開催されていて、保護者同士交流の場があるようです。	昨年度は平日と土曜日に開催しています。来年度以降もご都合がつかましたらぜひご参加ください。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	0	0	0		
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	0	0	0		
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	0	0	1		
	⑲ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	3	0	0	0	はい。特に不審に思うことはない。はい。	
非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2	0	0	1		
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	0	0	1		
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	2	1	0	0		
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	3	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 6年 3月 1日

公表：令和 6年 3月 26日

事業所名 アシストIII

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0			
	2	職員の配置数は適切である	5	0			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	0	5		・物理的に無理なところもあるが、不都合ないように環境整備に配慮している	2階という環境であるため、バリアフリー化は出来てはいない。ただ出来る限りの段差解消など工夫して環境整備は行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0		・日々振り返りをしながらより良い支援に繋げている	支援者全員で振り返りなど今後も行ってきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		・保護者向け評価表に目を通して、改善できるところはすぐに対応するようにしている	保護者の方の意見を真摯に受け止めて業務改善に繋げていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		・現在は行なえていない	法人と相談し、今後検討を行っていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0		・内部、外部問わず研修を定期的に行なっている	今後も引き続き行っていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		・保護者と懇談や聞き取りなどしながらその子に合わせた計画づくりに心がけている	保護者の方からの聞き取りに加え、支援者の視点も踏まえ計画作成に繋げていく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0		・現場スタッフ、管理者も含めて月単位で活動を組み合わせている	チームの意見を反映させていながら今後も活動内容を考えていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		・同じ曜日に来てても内容が被らないように工夫している	似たような内容にならないように意見を出し合いながら考えていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		・日々必ず行い、内容の確認をして安全に行えるように適宜指導を行なっている	毎日職員間で活動内容や流れを確認して、事故などのないような環境づくりに努めている。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	1	・必ず毎日というところではできていないが、次の日までに全員で情報共有したり振り返りは行なうようにしている	小さなことでも日頃から振り返りや情報共有を行っていきたく思います。	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 6年 3月 1日

公表：令和 6年 3月 26日

事業所名 アシストⅢ

チェック項目		はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		・業務日誌を日々記録して支援内容や気になった点や改善できるところなどは改善できるようにしている	日々記録を行う中で、活動内容の振り返りや反省から、より良い支援へと繋げていきます。
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0		・保護者の方から評価をしていただき次期計画に繋げている	保護者の方から評価を頂きながら、変更や継続など話し合いの上で計画作成を行っている。
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0			
	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っている	5	0			
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5		・該当する利用者がいない・医療的ケア児はいない	
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5		・該当する利用者がいない・医療的ケア児はいない	
	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0			
	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	1		
	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		・法人内の児童発達支援から来る方に関しては状況など引き継いでいる	研修の機会があれば参加を検討していきます。
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0		・戸外活動時に交流がみられる・公園で地域の子と関わることもある・ほばないものの、近くの公園で地域の子と交わることはある	近所の公園で地域の子と関わる程度である。来年度は町内会も含めたイベント開催を模索していきたい。
	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	1		
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		・日々の送迎時や電話等で連絡を取り合っている	
保護者への説明責任	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	5			
	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		・契約時に管理者より説明している	より分かりやすい説明を今後も心掛けていきます。
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0			
	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0			
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0		・保護者会を開催して、横の繋がりを作るきっかけづくりをしている	今年度は平日と土曜日に一回ずつ保護者会を実施しました。来年度も継続していきたい。
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		・相談を受けた際はできる限り迅速に対応している	相談を受けた際はできる限り迅速に対応していきます。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 6年 3月 1日

公表：令和 6年 3月 26日

事業所名 アシスト川

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
等	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		・ホームページで発信したり、アシスト通信などでも情報発信している	今後もホームページなどで積極的に情報発信をしていきたい。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	5	0			
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	0	1	・感染防止の為行えていない・以前はできていたが、コロナをきっかけにまだ再開出来ていない	今年度はコロナ明けで事業所のみでイベントを開催した。来年度は地域の町内会も交えて行事を企画していきたい。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		・避難訓練は月に1回必ず行なっている	各種マニュアルは職員に周知している。避難訓練も月に一回行い、今後も継続して取り組んでいく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		・避難訓練は月に1回必ず行なっている	地震や火事、大雨など様々な災害を想定して訓練を実施している。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0		・契約時に聞き取りをして状況把握をしている	契約時にアセスメントを行い、把握したうえで支援を行っている。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		・職員にも周知してアレルギーの事故のないよう対応している	アレルギー等の情報共有を行った上でおやつ作りなどはその点を配慮して実施している。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		・虐待防止に関する研修に参加している	研修には全職員が参加出来るようにしている。その上で日々の支援に生かしている。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0		・計画に記載している	個別支援計画に記載すると共に、万が一身体拘束を行った場合には保護者へ説明を行っている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 アシストⅢ

保護者等数(児童数) 26名 回収数 15 件 割合 58 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	3	0	3	広いスペースだと思います。年に一回くらい見学デーなどあればいいと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。今後開催できるか社内で検討させていただきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	3	0	3	毎日何名で見られているのかわからないのですが目は行き届いていると思います。	現在は管理者兼児童発達管理責任者1名に、保育士2名、児童指導員2名が支援を行っています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	3	0	5	はい。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ⅰが作成されているか	15	0	0	0	はい、されています。	
	5 活動プログラム※ⅱが固定化しないよう工夫されているか	14	0	0	1	季節の行事を取り入れ様々な活動をされています。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	5	10	特にありません。あるとうれしい。なかなか難しいと思います。聞いたことがなかったので、利用回数も少ないので、わかりません。交流していることを聞いたことないので、交流があるのかわからないです。学校で障害のないお子さんと共に過ごしているの、問題ないかと思います。利用が少なくわからないため、わかりません。今まで利用時には、ないと思う。障がいのある子がいるというのをわかってもらうためにも簡単なゲーム大会やバザーなどやってみたらどうか。わかりません。通っているなかでは聞いたことがありません。	現在のところは障害のない子どもと関わる機会はほとんどありませんが、近くの公園で近所の子と関わることはあります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	0	特にありません。説明された。はい。入所時に聞いています。本人が苦手なことに、どのようにしているとお話が聞ければイメージしやすいかもしれないです。特になし。丁寧に説明していただきました。しっかりと説明していただいています。書面でもわかりやすいため、最初に聞きました。日数増えた際にも連絡あった。支援計画を行ってもらった。説明してもらってます。通所を開始する際にお聞きしています。	支援の具体的な声掛けの内容や対応などは直接ご連絡させていただきたくなくて今後も対応させていただきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	1	0	0	はい、学校の状況なども共有できています。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	5	2	0	なかなかこちらが時間を作れていません。	細目に連絡を取りながら情報共有やお話をさせて頂きたいと思えます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	1	3	2	開催されています。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	9	はい。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	3	0	1	はい、していただいています。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0	1	会報やインスタを楽しく見えています。	
	14 個人情報に十分注意しているか	13	1	0	1	大丈夫です。	
15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	1	1	1	プリントやメールでいただいています。		

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 アシストⅢ

保護者等数(児童数) 26名 回収数 15 件 割合 58 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、 その他必要な訓練が行われているか	11	1	0	3	特にありません。行われている。避難訓練をしています。避難訓練を行っていると聞いたので。年に一度程、避難訓練のお話を聞いています。特になし。わかりません。利用頻度が低いため、わかりません。子どもの利用のときにはされていないようなのでわかりません。そう思っています。 活動内容をお迎え時に話していただけてる。人数もいて大変だとは思いますが、災害訓練や防犯訓練を定期的に行っていただきたい。避難訓練をしたと聞いています。活動内容に書かれていますので、訓練は行われているのかなと思います。	避難訓練は月一回実施していません。隔月で事業所ごとに行うものと法人全体で行うものを実施し、年間で見た時には全曜日実施できるようにスケジュールを組んでいます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12	3	0	0	しています。	
	18 事業所の支援に満足しているか	14	0	0	1	これからも利用継続したいと思っています。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 1日

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 アシストⅢ

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	4	1	手すりがあるが階段が急。ドアとドアが接触して危険な場所がある。できる限りの補修や対策などは行なっているが、物理的に無理な部分もある。階段に手すりは設置し業務前、終業後など必要に応じた振り返りや打ち合わせなどしながらよりよい支援を目指して取り組んでいる。	2階という環境であるため、バリアフリー化は出来てはいない。ただ出来る限りの段差解消や手すり設置など工夫して環境整備は行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	0		支援者全員で振り返りなど今後も行っていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	保護者の方からの意見も確認している。	保護者の方の意見を真摯に受け止めて業務改善に繋げていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	0	現在は行っていない。	法人と相談し、今後検討を行っていく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	内部研修、外部研修を年間通して定期的に行っている。	今後も引き続き行っていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	保護者と懇談を行ったり日頃からコミュニケーションをとり、支援計画に反映させている。	保護者の方からの聞き取りに加え、支援者の視点も踏まえ計画作成に繋げていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用	5	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	全員で意見を出し合いながら月単位で活動プログラムを考えている。	チームの意見を反映させていながら今後も活動内容を考えていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	どの曜日にも利用しても色々な内容の活動に参加できるように偏りのないよう工夫している。	似たような内容にならないように意見を出し合いながら考えていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0	平日は限られた時間のなかで行えるもの、長期休暇は時間をかけて行えるものなど支援内容、活動内容を工夫するようにしている。	長期休暇は普段時間的に難しい活動を入れたり、その都度工夫しながら内容を今後も考えていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	職員間、管理者も含めてその日の打ち合わせを行なっている。	毎日職員間で活動内容や流れを確認して、事故などのないような環境づくりに努めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	1	毎日必ずではないものの、その日気になった事柄を共有したり振り返るようにしている。次の日にスタッフが揃うのでそこで改めて行なったりしている。	小さなことでも日頃から振り返りや情報共有を行っていききたいと思います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0		
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	保護者の方に評価してもらい、計画に対する意見を聞き、それを踏まえた次期計画へと繋げている。	保護者の方から評価を頂きながら、変更や継続など話し合いの上で計画作成を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	管理者が参加している。	召集の打診があれば積極的に参加はしていくが、そこまで機会は少ない。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	0	管理者が行なっている。	保護者の方とは毎月下校時間を聞き、下校時刻等の確認を行っている。イレギュラーな対応などに関しては責任者が対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	0	該当の利用者がいない。医療的ケア児はいないが、何かあったときの緊急連絡先は全員聞いている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	0	法人内の事業所から引き継ぐ場合は情報共有など行なっている。	連携の取れる体制を今後も行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	0		
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	0	研修などを受けていたりしている。	研修の機会があれば参加を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0	0	公園に行った際地域の子と関わっている。あまりできていないが、近所の公園などで交流することはある。	近所の公園で地域の子と関わる程度である。来年度は町内会もきめたイベント開催を模索していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	0	通所連絡会に加入し研修に参加している。	自立支援協議会には現状参加できていない。通所連絡会というものには加入している。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 1日

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 アシストⅢ

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	送迎時や連絡帳などでやりとりしたり会話をして、その内容をスタッフ間で共有している。	引き続き送迎時や連絡帳など活用して状況を把握して共有していきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	5	0		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	契約時に管理者から説明を行なっている。	より分かりやすい説明を今後も心掛けていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行って、父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	0	懇談時を中心に行なっている。	懇談時を中心、それ以外でも相談があればその都度対応しています。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	事実確認を行い、速やかに対応している。	万が一そういったことがあれば事実確認を行い、速やかに対応を協議して対応していく。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	アシスト通信や周知したい事項は保護者への手紙として配布して情報発信している。	今後もホームページなどで積極的に情報発信をしていきたい。
	34	個人情報に十分注意している	5	0	0		
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	伝え方を工夫したり配慮をしている。	引き続き配慮していきたい。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	0	感染防止の観点からまだ出来ていない。以前はできていたが、コロナ禍を機にまだ再開できていない。	今年度はコロナ明けで事業所のみでイベントを開催した。来年度は地域の町内会も交えて行事を企画していきたい。
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0		
非常時等の対応	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	毎月様々な災害を想定した訓練を実施。	地震や火事、大雨など様々な災害を想定して訓練を実施している。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	虐待防止に関する研修など実施し適切な対応を心がける。	研修には全職員が参加出来るようにしている。その上で日々の支援に生かしている。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0	支援計画に記載している。	個別支援計画に記載すると共に、万が一身体拘束を行った場合には保護者へ説明を行っている。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0	保護者から聞き取りなどして事故のないよう対応したりしている。	アレルギー等の情報共有を行った上でおやつ作りなどはその点を配慮して実施している。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0		
	43						